

令和元年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市蘇我スポーツ公園スポーツ施設
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	・市におけるスポーツ、レクリエーションの振興を図り、市民の健康、体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。 ・蘇我スポーツ公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、災害時の防災拠点となる施設を目指す。(平成29年6月設定)
ミッション (施設の社会的使命や役割)	・市民の誰もが、日常的に利用でき、それぞれの目的に応じたスポーツを楽しめる場を提供する。 ・日頃、スポーツ活動の機会に恵まれない市民やスポーツ初心者、レベルアップを志向する市民に対して、各種スポーツ教室等の場を提供する。 ・地域や区のスポーツ大会やイベントの開催場所を提供する。 ・災害時に各施設の機能が発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築する。(平成29年6月設定)
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、利用者サービスの向上及び管理経費の削減の効果を見込んでいます。
成果指標※	① 利用者数(選定時は未設定) ② 稼働率(選定時は未設定)
数値目標※	① 選定時は未設定 ② 選定時は未設定
所管課	都市局公園緑地部公園管理課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	MMT 共同事業体
構成団体 (共同事業体の場合)	(代表) 株式会社千葉マリスタジアム 日本メックス株式会社 東洋グリーン株式会社
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市美浜区高浜4丁目12番2号
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日(5年)
選定方法	公募
非公募理由	—
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R1年度実績	達成率※
利用者数(選定時は未設定)	選定時は未設定	666,257人	
稼働率(選定時は未設定)	選定時は未設定	フクダ電子アリーナ: 41.0% フクダ電子スクエア: 57.1% フクダ電子ヒルコート: 65.6% フクダ電子フィールド: 64.4% フクダ電子グラウンド北: 26.7%	

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	R1年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R1年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
指定管理料	実績	147,677	147,110	実績－計画	2,585	コロナ補填
	計画	145,092	147,110	計画－提案	0	
	提案	145,092	147,111			
利用料金収入	実績	108,631	108,114	実績－計画	2,313	音楽フェス誘致等による増
	計画	106,318	104,332	計画－提案	9,313	音楽フェス誘致等による増
	提案	97,005	94,986			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	256,308	255,224	実績－計画	4,898	
	計画	251,410	251,442	計画－提案	9,313	
	提案	242,097	242,097			

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R1年度	【参考】 H30年度	計画実績差異・要因分析		
				差異		主な要因
人件費	実績	113,280	107,672	実績－計画	10,520	イベント増における業務拡大と賞与支給
	計画	102,760	102,760	計画－提案	△ 7,314	時間外業務の削減を計画したことによる減
	提案	110,074	110,074			
事務費	実績	70,963	63,605	実績－計画	△ 21,055	業務全般の経費削減
	計画	92,018	91,716	計画－提案	12,700	施設改修等における再生水等使用料増大
	提案	79,318	79,318			
管理費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
委託費	実績	120,221	102,051	実績－計画	63,589	音楽フェス来場者増による業務拡大による
	計画	56,632	56,966	計画－提案	△ 3,150	自主での作業等強化を図ったことによる
	提案	59,782	59,782			
その他事業費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
間接費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
合計	実績	304,464	273,328	実績－計画	53,054	
	計画	251,410	251,442	計画－提案	2,236	
	提案	249,174	249,174			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		R1年度	【参考】 H30年度
自主事業収入	実績	163,783	129,898
その他収入	実績	0	0
合計	実績	163,783	129,898

イ 支出

(単位：千円)

費 目		R1年度	【参考】 H30年度
人件費	実績	7,111	10,826
事務費	実績	665	1,636
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	9,896	9,731
事業費	実績	61,545	59,484
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	0	0
合計	実績	79,217	81,677

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R1年度	【参考】H30年度
必須業務	収入合計	256,308	255,224
	支出合計	304,464	273,328
	収 支	△ 48,156	△ 18,104
自主事業	収入合計	163,783	129,898
	支出合計	79,217	81,677
	収 支	84,566	48,221
総収入		420,091	385,122
総支出		383,681	355,005
収 支		36,410	30,117
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数 (選定時は目標未設定)		R1:666,257人 (H30:678,098人, H29:712,865人, H28:643,131人, H27:600,654人)
稼働率 (選定時は目標未設定)		フクダ電子アリーナ R1:41.0% (H30:34.8%, H29:38.5%, H28:35.8%, H27:36.9%) フクダ電子スクエア R1:57.1% (H30:58.3%, H29:57.4%, H28:60.6%, H27:66.4%) フクダ電子ヒルスコート R1:65.6% (H30:66.1%, H29:65.0%, H28:66.2%, H27:63.0%) フクダ電子フィールド R1:64.4% (H30:64.9%, H29:63.6%, H28:62.1%, H27:39.9%) フクダ電子グラウンド北 R1:26.7% (H30:29.1%, H29:21.6%, H28:20.5%, H27:22.3%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 ー：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理			
市民の平等利用の確保	B	C	(M) 共同事業体の資源を効率よく活用し、施設価値を最大限に高め、市民平等利用を促進し、自主事業においては「市民サービスの向上」「地域の活性化」に大きく貢献した。
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実			
管理運営の執行体制	B	B	(M) 適正な人員配置、また専門職員による業務運営など連携した組織体制作りができた。
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務			
施設の保守管理	B	B	(M) 来場者からのアンケート調査を基に、自主での敏速な施設、設備修繕に積極的に取り組むと共に、計画的な保守委託業務を遂行した。
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保			
開館時間・休館日	B	B	(M) 65歳以上の団体、また障がい者利用においては、減免利用にて受入を率先的にし、時間外、休日利用の貸し出しも行った。
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実			
利用者への支援	C	B	(M) 日除けテント、簡易椅子の貸し出しをおこなった。また、夏場における熱中症対策（飲料販売、製氷のサービスなど）を行った。 (市) 熱中症対策のため氷の無償配布など、利用者サービスに努めた。
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施			
施設の事業の効果的な実施	B	B	(M) Jリーグ開催ならびに音楽フェスティバル等、自主イベントなどで飲食売店等創意工夫をし、積極的に展開をした。
自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成	C	C	(M) 概ね水準どうりの運営ができていている。事業体の構成企業各社が、働き方改革を意識した職員の雇用の安定化等への配慮を促した。
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】
 A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
	○年度	
	○年度	

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	<フクダ電子アリーナ> 調査方法：アンケート用紙を配布し回答記入後に回収 回答者数：2,140件（合計3回） 質問項目：性別、年齢、居住地、来場方法、飲食売店サービス、ひまわりフェスティバル、スポーツ観戦等
	回答者数	<フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド、フクダ電子グラウンド> 調査方法：管理棟にアンケート用紙・回収BOXを常設 回答者数：300件（スクエア・フィールド・グラウンド共通） 質問項目：性別・年齢層・居住地・来場目的・接客サービス・清掃状況・満足度・利用料金など
	質問項目	<フクダ電子ヒルスコート> 調査方法：管理棟にアンケート用紙・回収BOXを常設 回答者数：156件 質問項目：性別・年齢層・住まい・来場目的・接客サービス・利用料金など
	結果	<フクダ電子アリーナ> ・回答者の約57%が男性。年齢層は30～50歳代が60%以上。子連れでの利用により10歳以下17%あり。 ・居住地は、千葉市内53%。隣接市（市原市）からも利用あり。ひまわりフェスティバルは84%が千葉市内。 ・自動車49%・電車31%での来場が多い。Jリーグは公園駐車場と臨時駐車場を利用。 （意見） ・トイレの数を増やしてほしい。トイレをきれいに。トイレトペーパーが使いづらい。 ・完全分煙にしてほしい。 ・ビジョンを新しくしてほしい。デジタル時計がほしい。 ・電子マネー導入の要望。Wi-Fi設置要望。Jリーグでの再入場。 ・売店に関する要望。（増設、充実、売り子復活） <フクダ電子スクエア、フクダ電子フィールド、フクダ電子グラウンド> ・回答者の約80%が男性。10～20歳代が全体の75%を超える。 ・千葉市内在住が約70%。中央区内在住が33%強。市内の利用が増加。 （意見） ・予約が取りづらい ・フクダ電子スクエアの人工芝に関する意見・要望。 ・水道の数が少ない、増やしてほしい。 ・日陰が少ない。 ・冷水器が欲しい。 <フクダ電子ヒルスコート> ・回答者は男女比は1:2、昨年と比較して女性の利用が増えた。 ・10歳代から70歳代以上まで幅広い年齢層が利用。40～50歳代が中心。 ・60%以上が千葉市内在住。 ・一般利用と大会利用は2:1の割合 （意見） ・駐車場料金が高い。渋滞する。出入口を増やしてほしい。 ・受動喫煙対策、分煙。 ・日陰が少ない。雨宿りができない。風が強い。 ・ベンチが欲しい。貸出のイスを増やしてほしい。 ・更衣室、シャワー室の増設・拡張。 ・コートの改修要望。バリアフリー強化。 ・手洗い、水飲み場の増設。 ・予約がなかなか取れない。

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
フクダ電子アリーナで電子マネーの利用	今後検討する可能性あり。
フクダ電子スクエアの人工芝劣化	令和2年度に千葉市が改修工事を実施予定。
フクダ電子ヒルスコートの人工芝劣化	令和元年度末に一部を張り替え。（市と協力して実施）
日陰が少ない。	テント貸出、会議室の開放、夏場の氷無料配布など。
手洗い場、水飲み場の増設。	市と継続協議。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	B	所見	指定管理5年目であり、最終年度となった管理運営については、4年間の実績を基に、安全で快適な施設の貸出し、また、施設維持管理においても千葉市と連携を図り管理運営がおこなわれた。特別提案でもある大型フェスティバル（JAPAN JAM 2019）3回目においては、過去最大の来場者を集め開催となり、地域との連携強化、事前告知、対策等が十分に図られ、大きなトラブルもなく開催できた。また、昨年第2多目的グラウンドに張った天然芝の管理も非常に力を入れたと共に、管理最終年度にオープンした、円形野球場においても最低限の管理維持に努めることができた。
----------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	B	所見	指定管理最終年度となったが、全体的に安定的な施設運営をおこなった。新型コロナウイルス感染症の対策のため、3月以降のJリーグが延期になったり、大会等の開催自粛があり、利用者数や稼働率が最後落ち込んだが、スクエア・ヒルス・フィールドは年間を通して高い稼働率となった。開催3年目となった音楽フェスでは、興行誘致・開催協力の立場から、近隣からの理解や協力を得るため尽力した。蘇我を代表するイベントの一つとして確立されてきており、今年度も大幅な動員増となり、地域活性化にも貢献している。
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見